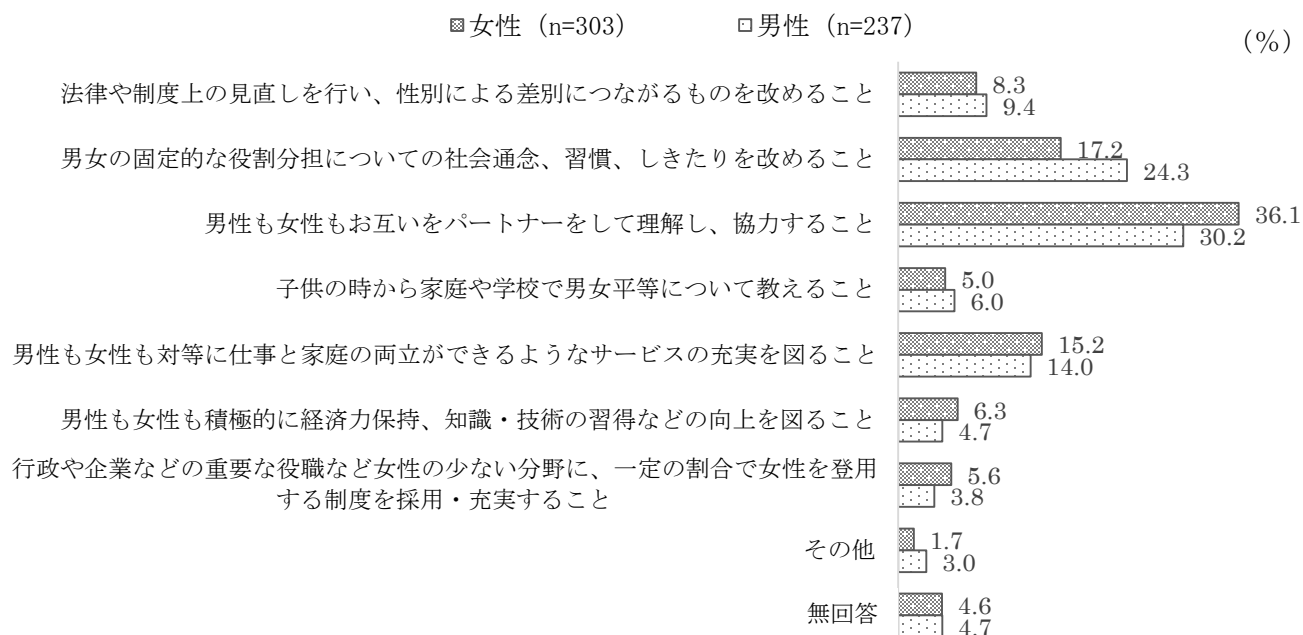


## 7 男女共同参画の推進に対する施策について

### 1 社会のあらゆる分野にバランス良く積極的に参加していくために必要なこと

男女ともに、【男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること】、次いで【男女の固定的な役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること】、【男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること】が高くなっています。



#### 【その他】を選択した方の意見

- ・夫婦別性。
- ・「差別」はあってはならないが、性差や個性による「差別」があるのは、ある程度やむを得ないのではないか。
- ・周囲の理解。
- ・女性自身の意識改革も必要。
- ・参画しやすい仕組みを整える。
- ・何が男女平等なのかを教える（男女平等とはどういうことか）。
- ・性別にとらわれず、あらゆる分野に興味を持つこと。
- ・人種、生物的に女性の方が家の事に目が届くかといって、男性が家の事をやらないのはと別である。
- ・夫婦共働きで、裕福に幸せな家庭を築きたかったから。
- ・共働きの方が世帯収入が増えるから。
- ・育児のための短時間労働などの充実。
- ・法律や行政や企業に文句を言う前に、他力に頼らず自律すること。
- ・人間としては平等は必要だが、子育て時期は性差がつきまとうため平等という条件は厳しい。性差を考慮する必要がある。
- ・個々の考え方がみんなそれぞれだから、それを共有するのはできないと思う。自分自身で見分けをつけていくしかないのかと。

- ・家庭の仕事に対して、社会に出てのと同様にパートナーが理解してくれることが大事だと思う。
- ・小さいことから（学校を含め）男女の平等な参画状況を作っていく。

## 2 男女共同参画に関する社会の動きや言葉の認知度

【セクシュアル・ハラスメント】、【DV（ドメスティック・バイオレンス）】は、内容を知っている割合が高くなっています。しかし、その他については、内容を知っている割合が低くなっています。

